

令和 4 年 12 月 8 日

都道府県医師会 会長 御侍史

特定非営利活動法人 日本肺癌学会 理事長

池田 徳彦

肺がん検診委員会委員長

芹澤 和太

謹啓 向寒の候 都道府県医師会会員の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は日本肺癌学会の活動に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、都道府県医師会会員の皆様にお伝えしたいことがございましたため、書中をもってお願い申し上げます。

胸部 X 線撮影を用いた肺がん検診、特に個別肺がん検診におきましては、都道府県医師会会員の皆様の多大なる御協力に支えられ運営されております。個別肺がん検診は対策型検診の中で大きなウェイトを占めるまでに浸透し、その精度管理はますます重要となつてきております。精度管理の中でも「読影医師の読影能力の向上」は大変重要な位置を占めております。

日本肺癌学会では、肺がん検診読影医師の読影能力向上に資する目的で、日本肺癌学会会員を対象とした「肺がん検診のための胸部 X 線読影・自己演習システム」を開発し、ホームページ上で公開していました。近年、各地の医師会の先生方から、「胸部 X 線読影能力の自己研鑽を行いたいので、学会員以外でも使用できるようにしてほしい」との御要望が数多く出されて参りました。そこで本学会では、同システムを学会員以外でも使用できるようにプログラミングし直し、2022 年 6 月より、学会員以外の皆様にも使用して頂くことを可能としました。日本医師会を通じて全国の先生方へ上記改訂の御連絡を差し上げたところ、10 月までに、のべ数百名の先生方に御利用を頂いており、大変好評を博しております。しかしながら、全国で肺がん検診に携わっている先生方の数を鑑みると、更なる周知・情報提供が必要な状況であると推察される次第です。

肺がん検診に携わる先生方をはじめ、多くの医師会員の先生方にとって、胸部 X 線画像読影力のトレーニングが可能な本システムは大変有益ではないかと思料いたしますので、本システムが利用可能である旨を、都道府県医師会会員の皆様にお知らせ頂ければ大変幸甚に存じます。

本学会は、これまで以上に肺癌死亡の減少に向けて鋭意取り組んでまいりますので、今後ともご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、都道府県医師会会員の皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

記

都道府県医師会会員の皆様に対して、以下の内容をお知らせください。

日本肺癌学会で作成した「肺がん検診のための胸部 X 線読影・自己演習システム」が、学会員以外の先生方にも利用できるようになりました。本システムは、多くの胸部 X 線画像から肺癌を疑う画像を拾い上げ、それを回答と比較することで、肺がん検診の胸部 X 線読影能力の向上を図るものです。難易度の異なる 3 種類の組合せを常時用意すると共に、画像データベースからの定期的な画像の入替を行いますので、繰り返し自己トレーニングすることが可能です。

URL <https://haigan.cira-s.jp/LungCancerStudy/Login.aspx> にアクセスしますと、日本肺癌学会会員の皆様はそのままログインが可能です。学会員以外の皆様も、画面の指示にしたがって「自己演習利用者（利用料：1 年間 3000 円）」として登録することにより、何度でも利用が可能となります。

なお、現在のところ、本システムは「肺がん検診のための胸部単純 X 線症例検討会」や「肺癌診断を主とした胸部 X 線読影講習会」の代替とはならないことを申し添えます。

ご不明点は、以下の連絡先にて承ります。

非特定営利活動法人 日本肺癌学会

TEL : 03-6225-2776

FAX : 03-3272-8655

Email : office@haigan.gr.jp

以上